

新しい時代の 大学教育につなぐ メッセージ

～ DP 事業が目指し、創り上げてきた成果～

文部科学省「知識集約型社会を支える人材育成事業（DP）」は、令和 2 年度・3 年度に公募され、メニューⅠ「文理横断・学修の幅を広げる教育プログラム」・メニューⅡ「出る杭を引き出す教育プログラム」・メニューⅢ「インテンシブ教育プログラム」をテーマに 9 つの採択校が個性ある取組を推進してきました。

本事業最終年度にあたり、成果発信シリーズとして、8 月には東京都市大学を会場に第一弾「未来思考型ワークショップ 2024（アイデアソン）」を、12 月には大正大学を会場に第二弾「教学マネジメントセミナー 2024」を開催してきました。第三弾として、最後の総括シンポジウムを開催し、本事業が目指し、創り上げてきた成果を社会に広く紹介し、新しい時代の大学教育につなぐメッセージを届けたいと思います。

2000 年代以降続いてきた「特色ある大学教育支援プログラム」（GP: Good Practice）、「大学教育再生加速プログラム」（AP: Acceleration Program）などの教育改革事業の一つの節目に当たり、本事業の意義や価値を参加者とともに共有したいと思います。



2025 /

3.6 [THU]
10:00 - 17:20

早稲田大学 早稲田キャンパス
14 号館

会場及びオンラインによるハイブリット開催

- 09:30 ～ 受付
- 10:00 ～ 10:10 開会挨拶
- 10:10 ～ 10:20 文部科学省来賓ご挨拶
- 10:20 ～ 11:00 基調講演
「知識集約型社会を支える人材育成が目指すもの」
- 11:15 ～ 12:25 分科会セッション A
- 13:10 ～ 14:20 分科会セッション B
- 14:30 ～ 15:40 分科会セッション C
- 15:55 ～ 17:10 総括パネルディスカッション
- 17:10 ～ 17:20 閉会挨拶



対 象 大学関係者ほか、どなたでも参加可能

定 員 会場 100 名、オンライン 100 名
(会場参加は、定員になり次第、申込受付終了)

申込方法 申込フォームから必要事項をご記入の上
お申し込みください。
お申込受付後、オンライン参加の方には
Zoom 情報を本シンポジウム開催日の
前日までにメールで送付します。
お預かりした個人情報は、本シンポジウムの
運営業務以外には使用いたしません。

申込フォーム <https://forms.gle/iBhboQftjXzHpG1a6>

申込期限 2025 年 3 月 3 日（月）17:00

参加費
無料

申込フォーム



【アクセス】早稲田キャンパス 14 号館へは、都営バス「西早稲田」、「早稲田」バス停、東京メトロ東西線「早稲田」駅、都電「早稲田」駅が最寄りとなります。



プログラム

09:30 ～ 受付

10:00 ～ 10:10 **開会挨拶** ※201 教室

早稲田大学 副総長（教学統括（プロボスト／教務・研究推進・産学連携）、人事総括） 須賀 晃一

10:10 ～ 10:20 文部科学省来賓ご挨拶

10:20 ～ 11:00 **基調講演**「知識集約型社会を支える人材育成が目指すもの」

大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 監事／芝浦工業大学 前学長 村上 雅人氏

11:00 ～ 11:15 休憩

11:15 ～ 12:25

分科会セッション A

※201 教室、101 教室、102 教室

分科会 1 早稲田大学

プログラム参加者の実体験から問う
インテンシブ教育の意義
—境界を越えた学びの深化—

分科会 2 東京都市大学

イノベーションで未来を切り拓く：
次世代リーダー育成
「東京都市大学ひらめき PG」の挑戦

分科会 3 千葉大学

イシューを発見し、解決をめざす
メリハリのあるターム運営
—千葉大学の取り組み—

12:25 ～ 13:10 休憩

13:10 ～ 14:20

分科会セッション B

※201 教室、101 教室、102 教室

分科会 4 金沢大学

数字で振り返り展望する！
金沢大学融合学域・
先導 STEAM人材育成プログラムの成果

分科会 5 新潟大学

知識集約型社会における新潟大学の挑戦：
メジャー・マイナー制の戦略的全学展開

分科会 6 大正大学

学生はいかにキャリアをデザインしたか
—学びの統合から未来を展望する—

14:20 ～ 14:30 休憩

14:30 ～ 15:40

分科会セッション C

※201 教室、101 教室、102 教室

分科会 7 麻布大学

高校・大学・大学院を「好きを力に」でつなぐ
自律的修学支援体制
—麻布大学出る杭—

分科会 8 信州大学

ライフクリエイター養成コース：
学際協働力と社会実装力を兼ね備えた
AI 人材育成

分科会 9 名古屋商科大学

「ケースメソッド」と「フィールドメソッド」
を組み合わせたインテンシブ教育の軌跡

15:40 ～ 15:55 休憩

15:55 ～ 17:10 **総括パネルディスカッション**

大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 監事／
芝浦工業大学 前学長 村上 雅人氏

京セラ株式会社 東京事業所長／
産学連携推進部 責任者 大西 実氏

ファシリテーター：
東京財団政策研究所 研究主幹／
教育ジャーナリスト 松本 美奈氏

17:10 ～ 17:20 **閉会挨拶**

金沢大学 理事（総括・大学改革・教育・情報担当）／副学長 森本 章治

（総合同会：金沢大学 教学マネジメントセンター 副センター長／教授 林 透）

【講師紹介】



大学共同利用機関法人 情報・
システム研究機構 監事／
芝浦工業大学 前学長
村上 雅人氏

1984年東京大学博士課程修了。
新日鉄研究所、超電導工学
研究所を経て2003年より芝浦
工業大学教授、2012～2021年
まで同大学長を務める。2023年より情報・システム研究
機構監事、日本技術者連盟会長に就任。世界最強の超
伝導磁石の開発に成功し、日経 BP 賞、World Congress
Superconductivity Award などを受賞。著書には、理工
数学シリーズの量子力学Ⅱ、Ⅲ（飛翔舎）をはじめとして、
専門書は30冊を超える。



京セラ株式会社 東京事業所長／
産学連携推進部 責任者
大西 実氏

1984年京セラへ新卒で入社。
1998年名古屋営業所所長。
2002年中国上海へ赴任。
2004年京都本社へ帰任。
人材開発課に新卒・中途の
採用責任者として異動。2012年人材開発部長に就任。
2021年シニア入りを機に産学連携業務に特化し、
大学への教育支援を中心に活動。2023年東京事業所長に
就任し、産学連携推進部責任者を兼務。一般社団法人
エッジソン・マネジメント協会理事。



東京財団政策研究所 研究主幹／
教育ジャーナリスト
松本 美奈氏

教育ジャーナリスト、一般社団
法人Qラボ 代表理事、東京財団
政策研究所研究主幹、上智大学
特任教授、帝京大学客員教授。
読売新聞記者として偏差値や
知名度によらない大学選びのための「大学の實力」
調査を10年間統括。2019年に独立して現職。著書に
『異見交論崖っぷちの大学を語る』（事業構想大学院大学
出版部）、『特別の教科 道徳 Q&A』（共著ミネルヴァ
書房）など。

